

株価で見る 政治・経済事象の経済的影響

会計学2 会計トピック

政治・経済事象の経済的影響

- 政治・経済事象は一般に経済的影響を持つ。
- 富の移転(再配分)
- 有利な影響と不利な影響
- 効率的な資本市場が存在する場合、マクロ経済的影響は為替相場と株価に反映される。

核実験を嫌気…ロンドン円、一時8か月ぶりの円安水準

- 【ロンドン＝中村宏之】週明け9日のロンドン外国為替市場の円相場は、北朝鮮の核実験実施を嫌気して朝方から円が売られ、一時、1ドル＝119円25銭と2月上旬以来、約8か月ぶりの円安水準まで下落した。
- 午前10時(日本時間9日午後6時)現在、その後、円はやや買い戻され、前週末(6日午後4時)比20銭円安・ドル高の1ドル＝119円15—25銭で推移している。
- 市場では「今後の北東アジア情勢次第では、当面、円安が進む可能性がある」(ロンドン邦銀筋)との見方が出ている。
- (2006年10月9日19時6分 読売新聞)

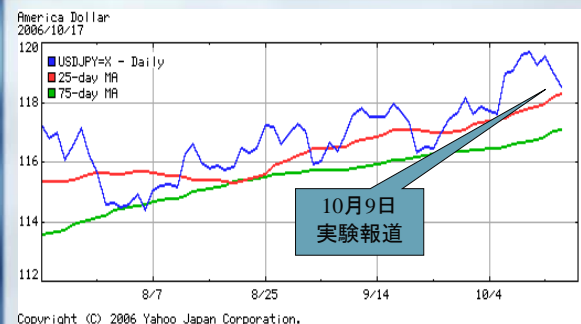
東京円、年初来最安値を一時更新…119円台

- 連休明け10日の東京外国為替市場は、北朝鮮による核実験などを受けて円売りが膨らみ、円相場は続落して始まった。
- 円相場は一時、1ドル＝119円35銭まで下落し、東京市場での年初来最安値を更新した。
- ただ、市場では「国際的な政治状況を見極める必要がある」(都市銀行)として、現時点での市場への影響は限定的とする見方も出ている。
- 一方、円は対ユーロでも続落し、午後1時現在、前週末(同)比54銭円安・ユーロ高の1ユーロ＝150円20銭前後で取引されている。
- (2006年10月10日13時31分 読売新聞)

為替相場と株価動向

- 為替相場は国・地域別の相対的なマクロ経済情勢を反映。
- 株価動向は、以上に加えて、国・地域別の絶対的なマクロ経済情勢も反映。
- 個別銘柄の動向も追跡すれば、業種別・企業別の分権的な業績評価も把握できる。

直近3ヶ月の円相場 (2006年10月18日現在 対米ドル)



アジア株急落、北朝鮮核実験の影響

- 【クアラルンプール＝菊池隆】北朝鮮の核実験を受け、9日のアジア株式市場は、休場の台湾を除き、ソウル、香港、シンガポールで主要株価指数が軒並み急落した。
- 特に韓国では総合株価指数(KOSPI)が連休前の4日より2.4%安となったほか、通貨ウォン相場も対米ドルで下落した。
- KOSPIは北朝鮮が核実験をすると宣言した後の4日にも1.6%下落していた。
- 香港・ハンセン指数は前週末比1.3%安、シンガポール・ストレーツタイムズ指数は1.1%安で取引を終えた。

直近1ヶ月の株価動向 (2006年10月18日現在 東証1部)



対北ビジネス縮小の動き、日産が取引停止

- 日産自動車は10日、自動車輸出などの北朝鮮とのビジネスを全面停止することを明らかにした。
- 核開発などに対する国際的な非難の高まりを受けた当面の措置で、すでに、北朝鮮がミサイル発射実験を行った7月以降、ワゴン車の輸出を停止した。
- 新日本製鉄も7月から北朝鮮から無煙炭の輸入を全面停止しており、日本の企業に北朝鮮とのビジネスを縮小する動きが広がりにつつある。

政治・経済的事象の公表タイミング

- 政治・経済事象の記者発表は、週末に行われることが多いようです。
- 以下のようなシナリオが想定されています。
 - 週末 記者発表
 - 休日 事後対策、市場の学習
 - 週明 織り込み済みの展開
ソフトランディング

政治・経済事象とビジネスチャンス

- ——北朝鮮問題の為替市場への影響は
- まず、いまの為替市場は円に限らず金利差を狙う「キャリー取引」の流れが為替市場のトレンドを支配しています。日本の金利が非常に低く、またボラティリティー(予想変動率)も低いため低金利で借りた円を売却して高金利のドルで運用する「円キャリー取引」と言われる動きが活発化し、円の弱さにつながっているのです。

国内株価への影響

- 今週の株式相場は主力企業の決算発表を受けた米国株の動向に神経質な展開になりそうだ。米国株高を好感した買いが中小型株にも広がっている。一方、国内は主要企業の9月中旬決算発表の本格化を控えて材料に乏しく、買いが手控えられる可能性がある。ただ企業業績への期待は根強く、下値不安は少ないとの見方が優勢だ。

- 核実験を実施したと発表した北朝鮮への制裁決議案が国連安全保障理事会で採択されれば、北朝鮮が再び核実験を実施するとの観測もある。国際的な緊張が一段と高まれば地政学リスクが改めて意識される場面もありそうだ。6日時点の裁定買い残は4月21日以来約5カ月半ぶりの高水準に積み上がっており、需給面での不安も残っている。

[10月15日/日本経済新聞 朝刊]

まとめ

- 政治・経済事象は多くの場合、経済的影響を持ちます。
- その影響を見極めることが大切です。
- ポイントは、①対極的な状況把握、②経済主体間でどのような富の移転が予想されるかの見極めの2点です。
- 以上の分析を、1つのまとまりのあるストーリー・ラインに組み立てることが重要です。